

株式会社オーシャンアイズ



- 所在地：京都府
- 従業員：13名
- 会社設立年：2019年
- 事業内容：情報通信業

<https://www.oceaneyes.co.jp/>

プロジェクト名

- インドネシアにおける海面水産業のDX

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：PT Kopernik
- 協力・連携の内容：
プロジェクト実施国現地での作業、調査

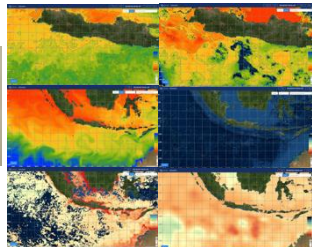
海面漁業者への海況データ提供
AI/海洋物理の応用

操業効率改善
/漁獲データ分析・活用

FishersNavi



クラウドベースの
海況情報ビューア
(タブレット対応)



現地の経済・社会課題

- インドネシア漁業の生産性は低く、一人当たり生産量は3.5トン(日本は27.6、アイスランドは225.2)。
- 低生産性の理由の一つは、データの合理的利用が浸透していないこと。
- インドネシアでは船上の通信手段は無線であることが多く、インターネット環境は未整備。

実証内容

- 漁場を決める上で重要な判断材料となる海況予測情報を、気象衛星の観測データと最新の海洋数値モデルに基づくシミュレーション技術を用いて作成。インドネシア等の低緯度海域で需要が高いクロロフィル(葉緑素)や海面高度といった情報も提供する。
- また、陸上から漁船と連絡を取り合う無線オペレータにデータの活用法をトレーニングし、漁場の想定位置を指示できるようにして操業効率を改善する。

期待される裨益効果

- 現地漁船での情報通信環境の改善とそれに伴う漁業従事者向け情報サービスの新規市場の創出。
- インドネシアにおける管理漁業の定着、タイ、マレーシア等近隣諸国への横展開も期待される。